

現場視点からのDX推進 私たちの取り組み



高木裕佳 [たかぎ・ゆたか]
介護老人保健施設恵泉（兵庫県）
支援相談員

はじめに

デジタルトランスフォーメーション（DX）は、企業や組織の成長を支える不可欠な取り組みです。介護施設でも業務効率化や職員の働きやすさ・利用者満足度向上をめざし、DXが重要な役割を果たしています。

2024年度の介護報酬改定では、生産性向上推進体制加算などが新設され、介護業界全体でDX推進が不可欠です。私は、最適な形で施設のDXを進めるため、現場の課題を探りながらICTの活用を模索しています。

また、介護施設はDXを経営戦略の一環として位置づけ、実施内容・時期を明確にし、組織全体で一丸となって取り組むことが求められます。

施設紹介

当施設は兵庫県明石市にあります。同市は大阪や神戸のベッドタウンとして発展し、近年「福祉のまち」として注目され、人口が増加しています。社会福祉法人明石恵泉福祉会は、1978年に保育事業からスタートし、1989年に当施設を開設しました。

当法人では明石市と西宮市で介護、福祉、医療事業を展開しており、法人本部がある明石市大久保町エリアに老健施設や特別養護老人ホーム、ケアハウス、グループホーム、クリニック、居宅介護支援事業所などを敷地内に集約しています。これらの施設は、法人内の施設サービス・居宅サービス・医療サービス・近隣エリアの高齢者向け住宅と密接に連携し、地域

の多様なニーズに対応する体制を整えています。このスケールメリットを活かした法人内連携は、私たちの大きな強みであり、法人運営の重要な基盤となっています。

業務について

私は相談部門統括責任者を務めています。2007年より支援相談員として多様な課題に取り組んできました。2011年からは在宅復帰・在宅療養支援の役割を果たすため、施設全体でトライ&エラーを重ね、2018年度には超強化型老健の要件をクリアしました。これは、職員全員が一丸となって取り組んだ成果です。

さらに、2019年より法人の新卒採用担当も兼務しています。変化の激しい新卒採用市場では、常に最新の情報を収集し、就職サポート企業と連携しながら、一般企業の採用動向を把握する機会を活かして対応を続けています。また、社会福祉士として兵庫県社会福祉士会での活動や理事の役割を担うなかで、専門職ネットワークを活用し、現場に役立つ情報を積極的に取り入れています。これらの経験はDX推進にも活かされ、私自身の視野を広げ、より効果的な取り組みを実現するための支えとなっています。

現場から進めるDX推進へのチャレンジ

DX推進におけるICT活用は、2つの視点から議論を進めています。1つ目は、見守りカメラや電子カルテなど、介護施設に特化したICTツールの活用です。